

## 4 エネルギー環境教育の全体計画

エネルギー環境教育とは、エネルギー環境やエネルギー環境問題に関心をもち、知識や技能の習得を基本に、総合的な理解と認識の上で、望ましい働きかけのできる思考力、判断力を身に付け、エネルギー環境への責任ある行動がとれる態度を育成することとらえる。

① エネルギー環境教育は、全教育活動を通して行われるものとする。  
 ② エネルギー環境教育は、知識と技能の習得を基本に、生活へと生かす態度の育成を目指すものである。  
 ③ エネルギー環境教育は、ESDの視点を併せもつものである。  
 ④ エネルギー環境教育は、地域の実態に対応した課題から取り組んでいくものとする。

学 校 教 育 目 標

**持続可能な社会を担う子どもの育成**  
 ～地球の視野で考え地域で行動する子どもを育てる～

エ ネ ル ギ ー 環 境 教 育 の 目 標

- 身近なエネルギーを意識し、エネルギーの活用と起きている問題について考え、生活をよりよくしようと実践する態度を育てる。
- エネルギー環境教育の過程において豊かな感受性を育てるとともに、持続可能な社会について総合的に創造し、実践する態度を育てる。

め ざ す 子 ど も 像

- エネルギー問題の重要性を理解し、積極的に関わろうとする子ども
- エネルギー問題の改善に努めると共に、現在及び未来へとその重要性を伝えようとする子ども

学 年 重 点 目 標		
低 学 年	中 学 年	高 学 年
1 身近なエネルギーの利用が分かり、省エネを実践することができる。	1 無駄なエネルギー利用について考え、効果的な省エネを実践することができる。	1 有効なエネルギー利用を科学的に分析し結果をもとに、省エネを実践できる。
2 自然にやさしく、快適な生活方法を知り、実践することができる。	2 自然にやさしく、快適な生活方法を考え、実践することができる。	2 自然にやさしく、快適な生活方法を科学的に分析・整理し、表現することができる。
3 発電にいろいろな資源が使われていることを理解できる。	3 発電に使われている資源やその資源のほとんどを外国に頼っていることを理解できる。	3 日本のエネルギー資源の確保を国際社会との関係から捉え、整理し表現することができる。
4 いろいろな方法で発電されていることを理解できる。	4 いろいろな発電方法を理解し、良いところ悪いところを自分なりに考えることができる。	4 エネルギー環境問題を多面的に分析し、エネルギーのベストミックスを提案することができる。

全教科・全領域における  
環境教育の視点

- 豊かな感受性の育成に努める。  
子供が自分自身をとりまくエネルギー環境事象に対して意欲的に関わり、それらに対する感受性を豊かにすることに努める。
- 活動や体験を重視する。  
子供が直接身の回りの事象に触れることによって、考えを判断し、それをもとに再び行動できるようにする。
- 身近な問題を重視する。  
まず、身の回りの社会や自然の事象に目を向け、自ら考えさせるようにする。

環境に配慮した学校施設を活用した環境教育

- 太陽光発電装置や校庭の緑化を活用した環境教育を推進する。(環境出前授業など)

エネルギー環境教育モデル校活動

○ 児童と教師が協力して

- 省エネにつながる活動を実践する。
- 自然にやさしく、快適なくらしを実践する。
- 国際社会との関係から日本のエネルギー資源について捉える。
- エネルギーの安定確保の方法について多面的に捉える。

各教科・領域の目標を達成する中で環境問題の科学的な関心を喚起させる。

エネルギー環境に対し積極的に関わったり、エネルギー環境の将来を思いやったりして、よりよくしようとする関心、意欲、態度を養う。

エネルギー環境について考えたり、判断したりする思考力、及び表現力などを養う。

エネルギー環境に関わって課題を見つけたり、解決したり、創造したりするために必要な知識・理解や技能を養う。

活動を通して環境保全とエネルギー確保への考え方と実践力を培う。

活動することにより、エネルギー環境に積極的に関わり、エネルギー環境を自然環境、自国の繁栄、国際社会、現在から未来等多面的な問題として捉え、よくしようとする態度や実践力を培う。

エネルギー資源量による国際的なパワーバランスや先進国と途上国とのエネルギー環境のバランスを理解し、よりよい国際社会を築こうとする実践力を養う。

国 語	… 環境教育の視点をふまえた教材を基に理解を深める。知識をもとに環境問題の理解を深め、表現との関連を深める。
社 会	… 身近な環境、国土の自然・社会環境について、基礎的・基本的知識や概念を理解する。環境保全の活動について理解し、実践的な態度を養う。
算 数	… 数学的な考え方を、環境問題に関する事象に生かす態度を養う。
理 科	… 自然の事象を科学的、客観的に認識する力を育てる。事象を、生命尊重、環境との関係で理解する力を育てる。生命の連続、資源・エネルギーの有限性、物質の循環という考え方を育てる。
生 活	… 体験を通して環境に触れさせ、環境へのかかわり方を理解させる。
総 合 的 な 学 習 の 時 間	… 身近な環境問題を自ら見つけ、調べ、問題を解決する資質・能力や、積極的に環境に働きかけようとする態度を育てる。ソーラーパネルの発電などに興味を持たせ、身近なエネルギー問題についての関心を深める。
音 楽	… 豊かな感受性を養う。
図 工	… 身近な自然や人工の素材に働きかけ、表現することで、環境に対する関心を深める。
家 庭	… 衣食住に関する体験的な学習を通して、環境教育への関心を喚起し、環境に配慮する態度や技能、実践力を育成する。
体 育	… 健康の保持増進についての思考力・判断力を育てる。

道 徳

環境問題は、人間をはじめ生命あるものすべてにかかわる問題であり、自分たちは過去から受け継ぎ、未来へ引き継ぐ大きな責任があることを自覚する。

生命の尊重  
 節度・節制  
 親切・思いやり  
 勤労・奉仕  
 郷土愛  
 国際貢献

特 別 活 動

身の回りの事象に目を向け、問題に気づき、他と協力してよりよい生活への改善を図ろうとする実践的な態度を育てる。

学級会活動  
 委員会活動  
 クラブ活動  
 児童集会  
 過足・集団宿泊学習

広 報 … 校内省エネ活の広報  
各エネルギー源の広報

美 化 … 自然とのふれあい・植物の栽培  
教材園・学校園・学年園の活用  
小動物・鑑賞魚の世話活動

保 健 … 健康の保持増進の広報

給 食

地 域 … 地域清掃、資源回収活動への参加